

「望まぬ妊娠」後の 育児姿勢、育児行動

石井陽子 1) 沢田千恵子 1) 上野恭子 1)

斎藤孝子 1) 辺見縁 1) 松井一郎 2)

要約：神奈川県逗子市では、育児支援の一貫として、親子のこころの健康づくりに重点をおいた母子保健活動を展開しているが、前回の研究により、望まない妊娠で困惑した母親と子どもには基本的な母子関係に問題があり、その改善をはかるためには長期のかかわりが必要であることが明らかとなった。そこで、望まない妊娠で困惑した母親の育児姿勢や育児行動、さらには交友関係などの分析を行ったところ、予防活動の効果が期待できることが示唆された。

見出し語：望まぬ妊娠で困惑した母親の概況

母親の育児姿勢、育児行動

地域の子育てネットワーク

1 調査の方法

妊娠届出時の面接相談で把握した、妊娠をうれしいとうけとめた母親（以下、うれしい群という）と望まない妊娠で困惑した、とうけとめた母親（以下、望まない群という）のうち、1才6ヶ月～2才6ヶ月の子どもをもつ（平成5年6月～平成6年6月生れ）318人の母親を対象にアンケート調査を実施した。アンケート回収数206人、64.8%である。（表1）

表1 アンケート発送及び回収数

妊娠のうけとめかた		アンケート送付数		アンケート回収数	
うれしい	うれしい	52		28	185
	計画どおり	86	282	62	
	はやかった	77		52	
	もっと早く欲しかった	67		43	
望まない		36		21	
計		318		206	

2 望まない妊娠群の概況

望まない群の子どもの出生順位は第1子38.1%ついで第3子28.6%である。（表2）

母親の年令は表3のように20～24才の若い母親に多い傾向がある。学歴は中学校卒に望まない妊娠の比率が高く42.9%、専門学校卒28.9%

1) 神奈川県逗子市役所 市民健康課

2) 横浜市保土ヶ谷保健所、国立小児医療センター

2%、高校卒8.1%、短大卒6.5%、大学以上卒6.2%である。家族形態は、核家族11人複合家族7人、不明3人、職業をもつ母親は3人である。なお、子どもの出生体重は2,500g～3,999gである。

表2 出生順位

妊娠の受け止め方	第1子	第2子	第3子	第4子	不明	計
うれしい	91	68	16	2	8	185
望まない	8	3	6	1	3	21
計	99	71	22	3	11	206

表3 母親年令別

妊娠の受け止め方	20～25～	30～	35～	40～	不明	計
うれしい	7	34	85	43	8	185
望まない	5	2	5	5	1	21
計	12	36	90	48	9	206

3 母親の育児観

「育児は楽しい」と答えたのはうれしい群の62人、35.5%、望まない群の5人（第1子1人、第2子1人、第3子3人）23.8%で、子どもの発育発達は順調で、育てにくいと感じることではなく、父親の支えもある、友達もいると答えた人が圧倒的である。

「どちらかといえば育児は楽しい」と答えた人も含めるとうれしい群、望まない群ともに80%をこえる。しかし、望まない群の母親としての自分の評価は例えば、母親としてのふるまいは自分らしいと肯定したものは、わずかに1人であり、母親であることが好きである0人、充実感を感じる3人と、うれしい群と大きな差があるのが目立つ反面、自分は母として適格であると思うものは

どちらの群もほぼ同じ65%前後で、複雑な心をのぞかせている。（表6）

最も安定した育児観をみせているのは、計画的な妊娠でうれしいと答えた62人の母親で「はい」と「どちらかといえばはい」をあわせると90%以上が、育児は楽しく、母であることに生きがいを感じていると答えている。

育児はたのしくないとはっきり否定した3人は、育児に自信がなく、自分は母親として不適格であると感じ、子育てにおわれて行動が制限されるので、早く子どもに大きくなってほしいと望んでいる。3人のうち1人には友達がいるが、のこり2人には友達がなく、父親も精神的支えになってくれないと訴えている。

なお、望まない群の産後の変化をみると、子どもがかわいく思え、母親であることに生きがいを感じるなどを肯定する人が特に第1子、第2子に高い傾向にある。

4 育児行動など

子どもの発育、発達は順調であると答えた母親は、うれしい群73%、望まない群は、38.1%である。

ほかの質問項目についても、望まない群は、うれしい群に比較すると否定的な傾向にあり、母親の子育ての負担感が強い。

父親の協力がないと答えたものは、うれしい群14人3.7%、望まない群7人16.6%である。（表7）この21人の育児行動は、10.5%が子どもを育てにくいと感じており、子どもの発育が順調であると答えたものは23.8%にすぎず、母として不適格であると44.4%が感じて

いる。

子育てに果たす父親の役割の大きいことがうかがえる。

自分自身、こども時代に楽しい思い出がないと答えた8人（うれしい群5人2.7%、望まない群3人14.3%）の育児行動は、こどもが順調に発達していると評価する母親が少なく、育児についての困り感が高く25.4%が育てにくく感じている。父親の協力については、こども時代に楽しい思い出のない、望まない群全員が「ない」と答えている。また、育児感をみると、母親としての評価は、母として充実感を感じる37.5%などにみられるように非常に低い。育児に関しては、自信がない75.0%と飛び抜けて高い数値を示している。

これらはこども時代の経験が、育児感、育児行動に反映することを示唆していると考えられる。また、8人中5人は友達がない。

5 交友関係

表5 友人の有無

友人の有無	うれしい群	望まない群
い る	163	16
い な い	21	4
不 明	1	1
計	185	21

困った時に助けてくれる友人のいる母親は、うれしい群に多い。望まない群の友人の数は2~7人で、きょうだい、親戚、学校時代の友人が半数以上を占めている。一方、うれしい群では8人以

上の友人をもつ人が、17.2%おり、上記に加えて、近所の人、母親教室や育児グループで知りあった人、近所のこどもをもつお母さんが多い。

友人がいないと答えたのは、うれしい群、望まない群あわせて25人12.1%である。

友人のいない25人は、育児は楽しいと感じる率は低く、育児に自信がなく、育てにくく、こどもの発育、発達も不安があると、答えている。

こども時代の楽しい思い出は「どちらかといえばある」と答えたものが半数強にすぎない。

6 今後の方針

望まない群の育児感、育児行動は、うれしい群と比較すると、母としての自分に自信がなく、こどもの発育、発達の評価が低く、父親の協力を得られない率が高く、交友関係も狭いなどの問題をかかえている。職業をもつ39人の母親の交友関係も狭い傾向にある。また、友人のいない母親、父親の支援のない母親のかかえる問題も大きい。

福祉体験学習など、こどもとのふれあい教室を教育委員会や学校との連携を密にしていくことが望まれる。また、孤立した母子をなくすためのシステムづくりが急がれる。妊娠届出時、望まない妊娠と答えた母親への個別の援助、とくに、行政サービスの少ない第2子以降の母親への保健婦や助産婦による家庭訪問の実施、仕事をもつ母親が参加できる育児グループづくり、地域の遊びのグループの周知、強化、育成など早期からのかかわりにより、虐待を含むこどもの問題を未然に防止したい。

表4 望まない群の育児感

出生 順位	はい				どちらかといえば はい				どちらかといえば いいえ				いいえ					
	第1	第2	第3	第4	不	第1	第2	第3	不	第1	第2	第3	第4	不	第1	第2	第3	第4
	1	2	3	4		1	2	3	4	1	2	3	4		1	2	3	4
育児感	子	子	子	子	明	子	子	子	明	子	子	子	明	子	子	子	子	明
こどもと一緒にいると 心が和む	4	3	3	2	4	3				1	1							
母であることに 生きがいを感じる	2	2	2	2	5	1	3		1		1	1		1				
行動が制限される	3	1	2	1	1	4	1	3	2	1				1	1			
母になって成長できた	3		2	1	1	3	1	3		1	2	1	1	1	1			
育児は楽しむ	1	1	3			6	2	2	2	1		1	1	1				
育児に自信がない	1	1				3	2	1	1	4	2	2	2	2	2	2		

注 第1子 8人

第2子 3人

第3子 6人

第4子 1人

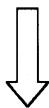
不明 3人

表6 母親の育児観

	う れ し い 群				望 ま な い 群					
	はい	どちらか といえど はい	どちらか といえど ない	不明	はい	どちらか といえど はい	どちらか といえど ない	不明		
育児は楽しい	62	95	24	3	1	5	12	4	0	0
子どもと一緒にいると心が和む	97	79	8	1		12	7	0	2	0
ひとときも子どもと離れたくない	19	54	70	41	1	1	9	6	5	0
早く子どもに大きくなってほしい	41	78	54	11	1	8	9	3	1	0
育児に自信がない	11	28	84	59	3	2	7	8	4	0
子育ては負担だ	16	27	69	72	1	0	5	9	5	2
母親であることが好きである	82	76	20	3	4	0	7	5	9	0
母としての振る舞いは自分らしい	49	101	24	8	3	1	11	6	2	1
母であることに生きがいを感じる	76	91	13	4	1	8	9	3	1	0
母であることに充実感を感じる	77	79	23	4	2	3	13	5	0	0
母になって成長できた	91	69	19	6	0	8	8	5	0	0
母になって気持ちが落ち着いた	50	85	37	9	4	4	5	10	1	1
自分は母として不適格ではないか	12	44	84	38	7	0	7	11	3	0
行動が制限される	76	78	20	10	1	8	10	1	2	0
子育てにおわれ根野が狭くなる	28	64	43	47	1	5	6	5	5	0
世の中から取り残されるようだ	18	29	51	87	0	0	7	5	9	0

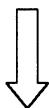
表7 育児行動

	う れ し い 群					望 ま な い 群					
	は い	どちらか といえど はい	どちらか といえど ない	どちらか といえど ない	い え	不 明	は い	どちらか といえど はい	どちらか といえど ない	い え	不 明
夜、だいたい同じ時刻に眠くなる	64	76	23	12	6	4	7	10	3	0	1
夜中にぐずったり泣いたりする	10	35	31	44	65	0	2	4	4	5	6
食べる量はだいたい同じである	26	73	41	27	17	1	5	9	5	1	0
よく食べ、体重の増加も順調である	70	68	31	12	4	0	8	7	5	1	0
母親の姿が見えないとさがす	83	63	28	10	1	0	12	2	7	0	0
知らない人でも声を掛けられると平気で寄っていく	15	41	38	37	54	0	5	3	6	2	5
新しい環境になじむまで1週間以上かかる	7	14	47	56	54	7	1	1	9	6	4
してはいけないことを言い聞かせるとやめる	29	77	50	22	7	0	4	5	6	4	2
自分の思うようにならないと泣き叫んだり、さわぐ	72	76	21	12	4	0	8	10	3	0	0
子どもと一緒にテレビを見る	69	73	25	13	4	1	10	6	4	0	0
子どもの発育、発達は順調であると思う	135	45	4	1	0	0	8	10	3	0	0
育てにくく感じることがある	8	13	24	63	77	0	1	1	8	3	8
父親は家事、育児に協力的である	80	52	34	9	8	2	3	10	4	0	4
父親は精神的な支えになってくれる	91	58	21	7	6	2	6	8	3	1	3
お母さん自身、子ども時代の楽しい思い出がある	85	50	28	17	5	0	6	8	3	1	3



検索用テキスト OCR(光学的文字認識)ソフト使用

論文の一部ですが、認識率の関係で誤字が含まれる場合があります



要約: 神奈川県逗子市では、育児支援の一貫として、親子のこころの健康づくりに重点をおいた母子保健活動を展開しているが、前回の研究により、望まない妊娠で困惑した母親と子どもには基本的な母子関係に問題があり、その改善をはかるためには長期のかかわりが必要であることが明らかとなった。そこで、望まない妊娠で困惑した母親の育児姿勢や育児行動、さらには交友関係などの分析を行ったところ、予防活動の効果が期待できることが示唆された。